

KOMAZAWA 1 × 2 中京大学 0

後半ロスタイム、中京大永富(左)に決勝点を決められてしまう。その後の反撃も及ばず2回戦敗退となった(撮影・野澤俊介)



後半追いつくも 悲劇のロスタイム……

伏兵中京大に屈する

今年こそ打倒「J1」そして昨年の初戦敗退という雪辱を晴らすべく、臨んだ中京大戦。

この試合、駒大の悪い癖がすべて出てしまった。「相手が攻撃的に来たのでそれに対して守備的になってしまつて」。押し込まれる部分が多かつた。「と小林亮が言うように、試合開始から相手に攻め込まれる。焦り、DFのクリアミスが重なりピンチを招くもGK太を中心に踏ん張り、何とか失点は間逃れた。しかし駒大も30分過ぎから徐々にチャンスを作り始める。32分、左サイドで得たFKから鈴木亮が体勢を崩しながらもヘディングを放つが相手DFに阻まれる。続く36分、またも左サイドで得たFK。中後が蹴ったボールはGKを越え、相手DFに当たる。そのこぼれ球を赤嶺がスライディングで狙うがゴールの上を外れてしまう。結局、前半はスコアレスで試合を折り返す。

後半開始も、駒大の立ち上がりはよくなかった。52分、中京大酒井のポストプレーから塚本がダイレクトシュート。60分、またも酒井のボールキープからフリーの渡辺に渡りシュート。と立て続けに崩されてしまう。ピンチを逃れたと思われた直後の61分、右サイドからの大きな展開を受けた野澤がドリブルで左サイドを駆け抜けクロス。そのボールを太がまさかのファンブル。そのこぼれ球を見逃さなかつた酒井に押し込まれ中京大に先制点を許す。直後の64分にリズムを変えるべく関をピッチに送り込む。その効果はすぐに表われた。67分、カウンターから中央でボールを受けた原が突破を仕掛ける。その突破を許すまいと中京DFが押し寄せるも関とのワン・ツーで抜け出し、ペナルティエリアに入。ゴール前でGK、DFにシュートコースを塞がれるも右足で切り返す。相手二人を置き去りにし、無人のゴール左スミに見事なシュートを突き刺す。その後も追加点を狙うべく78分に中嶋に代えて公式戦初出場の田谷、79分鈴木亮に代えて巻と攻撃的な選手をほぼ同時2人投入。しかし、互いに決定力を欠き、誰もが「このまま延長戦